

2018年11月24日 海老名災ボラ主催：体験型講座・減災対応訓練

海老名災ボラ主催の体験型講座・減災対応訓練が、2018年11月24日（土）、海老名市総合福祉会館で開催されました。出席者は災ボラ会員を含めて26名でした。

《体験型訓練の進め方について》

（１）本講座の目的

地震が発生した時に皆さんがいる場所で「自分の命と健康を守る基本行動」を身につけるための訓練（シェイクアウト訓練）、さらに、地震発生し揺れがおさまった後で、ライフライン（電気・上下水道・ガス・交通など）が停止しても、自宅で生活ができるように（「在宅避難」）、家庭で「事前の備え」をするための訓練を行います。

これらの訓練を通じて地震災害に対する関心を高め、一人ひとりの災害対応能力（自助）を高めることを目的としています。

参加者は本講座終了後に本日の講座を振り返りながら、家内外の安全チェックと安全対策を確実に実施するとともに、水・食糧の備蓄と防災用品のチェックなど行ってください。

（２）体験課目とスケジュール

① タイム・スケジュール（参加者・スタッフ）

●受付：9時30分～10時、総合福祉会館1階、娯楽室の前

- ・参加者は受付で、事前に申し込んだ氏名を告げ、テープに氏名を記載し洋服や帽子に貼る。
- ・資料（テキストなど）を受け取る。
- ・受付の指示により、グループ別（例：A班、B班など）に分かれる。

プログラム	プログラム内容	所要時間	開始時刻	終了時刻
1. 開会式	体験型講座の進め方	10分間	10:00	10:05
2. 各課目の体験	各課目を順に回る	各20分間	10:05	
3. シェイクアウト	「笛」の合図で安全基本行動	5分間	(突然)	11:30
4. 災害食を食べる	全員で災害食を食べる	20分間	11:30	11:50
5. 振り返り	講座に関する感想など	10分間	11:50	12:00

② 体験課目の概要

体験課目	訓練の概要
A シェイクアウト訓練	地震の揺れから身を守る安全行動の1-2-3
B 家具類の固定・ガラス飛散防止対策	家具類の転倒・移動防止対策、ガラス飛散防止対策
C 水と食料の備蓄、災害食づくり体験	水や食料の備蓄、災害食づくり、水の運搬方法
D 災害時のトイレ対策、	水を使わない家の「水洗トイレ」の活用方法
E 通電火災防止対策、照明の準備	感震ブレーカー設置、懐中電灯・ランタンでの照明

（３）体験型講座の資料（マニュアル）は省略します。（当日、配布）